

---

## 俺に興味が無い奴は、生きる資格は無い！

シー（やっぱりウザイのでシー様の様を外してみた元シー様）

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺に興味が無い奴は、生きる資格は無い！

### 【Nコード】

N2124P

### 【作者名】

シー（やっぱりウザイのでシー様の様を外してみた元シー様）

### 【あらすじ】

俺に興味が無い奴は、生きる資格は無い！

## 謝罪

俺は最近、独り言ばかりしてる。

俺は、一体誰と話をしてるんですか？

もやは、読者の事なんて一切関係なし

俺の文章を読解するなんてまず不可能である

でも、読んで辿って俺の事を理解しようとしてしまった人はスゲエ！

敬意を払いたい！　そして、そいつと結婚したい！！

だけど、不に落ちないとか、読んで損したとか、あるだろう。

そういう時は、人の気持ち判らなかつたと、諦めるしかない。

あるいは、俺に対して愛はその程度だったのだと、諦めるしかない。

諦めるのが無理なら、るばんがーって唱えてみればい。そうすりゃ納得できる。

それでも納得できん奴は、生きる資格は無いと言いたいね

なぜなら俺は神に最も近い男だからだ。

長年の障害をいくつも乗り越えた果てに神の世界に辿り着いた。

そして神は言った。

「俺には何も出来ん！」

ふざけるな！　じゃあなにか？　お前は何の為に神をやってるんだ！

その問いかけに神は

「昔はね。楽しくて良い事もしてたけど、最近は飽きちゃって、二  
トみたいに職務放棄しているんだ」

それを聞いた俺は納得したね。だって俺だって二トだもん。そ  
の気持ち判るよ。

でもさ、それじゃあ、お前の価値が無くねえ？

「そうでも無いんだよ。神は俺一人じゃないし、今はキリストって  
いう人が、せつせと頑張ってるし、彼、生きがい感じちゃってるか  
ら、仕事取るのもあれだしね・・・」

そのキリストって人なんだけどさ、結構前に人間として生まれ変わったよね。

遊び足りないー！ とか言ってさ・・・

「ナンデそんな事、君が知ってるの？」

そりゃああれだ、そのキリストの生まれ変わりが俺なんだよ。

「え？ マジに^^；

そうだよ！ お前と同じで神様がかつたるくて職務を放棄したんだよ。

お前、ずっと下界みてないだろう。お前にとっちゃテレビドラマの1クール見てる程度の時間だけど、下界では既に、俺らが何もしなくなってる2010年になってるんだぜ。

もう、2000年以上、職務放棄したせいで世界が色々とおれまくってテロとか起きちゃったじゃねえか。

「ご、ごめんよ・・・でも、いいじゃないか。人が死ぬのは当たり前なんだからさ・・・

ふぎけんな！ めちゃくちゃ人間って苦労すんだぞ馬鹿！

死ぬとか生きるとか、あんなに苦痛だとは思ってもよらんかったわ！ それなのにローン賭けて人間の魂10回分も買ってしもった。

もうどうしたらいいのか判らんのよ。

だから、こつやってローンに更にローン賭けて神世界入場料払って

来てるんだろっが！  
はやく神に戻りたいけど、あと7回輪廻せにやらんから、なんと  
か幸せにしてくれんか。

「嫌だね（キリ

は！?? なんでだよそれ！

「だって、なんだか腹が立つんだもん。いきなり目の前に現れて、  
上から目線でさ、あと10回死んでみれば？ 10回自殺したら早  
く終わるんじゃないの？

俺はこの時、憎悪が頂点に達して居たのかもしれない。  
つい包丁でぶっさしてしまったのだ。  
やってはならない事、そう、神を殺してしまったのだ。  
彼の寝顔はやすらかだった・・・

## 謝罪（後書き）

すまん皆、つい神を殺してしまった。

けど許してくれ。

どうせ、何を言っても奴は聞かなかつただろうし、神が死ねば三ジンコになるらしいから生きる大変さを知ると思う。

だから、これでいいのだと思う。

神の登場は、あと千年くらい待ってくれ、それまで俺と。がんばろうぜ

## 生まれて初めて頑張ろうって人に推奨した気がする

言っちゃなんだが、生まれてからずっと頑張る事に苦痛してたから、誰かに頑張ろうなんて言う発想は一度も無かった。

二トで立場が悪いと友達から「頑張ろうな」とか腐る程、言われる訳だけど、あれはきついでー

典型的な鬱と評価すれば見もふたも無いけれど、その時の感情は無気力とかそういう感覚じゃない。憎悪と劣等感と嫉妬が含まれる。無気力なんてどこにもない。

恐らく、これ読んでもる人たちが、この時点で「その気持ち俺も判る！」って思える人は全体の1%も居ないと思う。

それどころか、「お前何意味不明なこと言ってるの？」と思う人の方が遥かに多い筈である。

それはそれでいい。その方がいい。

けれど、気を付けたほうがいい。

そういう感覚で居れば、人に殺されてもおかしくない立場に居るのである。

二トは現在200万人程、居ると言われているが、その殆どは無気力が原因ではない。周囲の優秀な人間と自分の立場を見比べて恥ずかしくて社会に出るのを躊躇っているのである。

彼らは何らかの挫折を経験している場合が多く、他者と比べ劣等感を感じている場合が殆どで、そういう人は、口が裂けても、自分が二トだと公表しない。

俺自身がそうだったから判るのである。



誰にも言えないのである。

「職業は？」と聞かれて答えられない悔しさとかみ上げる感情は俺みたいなのにしか判らないのである。

「殺意がこみ上げるのは主に「頑張ろう！」「働きなよ」「働け！」「仕事は？」であるが、この4つの言葉は必ずしも言葉になっただけでなくとも意味や態度で表されれば殺意として反応する。

例えば

1、「いまなにしてるの？」〓生活を聞かれてる事は職業を答えなければならぬ。「仕事は？」と聞かれた事と同意味

2、「俺、東大受かったぜ。就職したぜ」〓立場を明かした為に二一トは自分と比較し劣等感を抱いた場合、頑張らなければならぬ。相手は嬉しそうで頑張ろうと思っている。頑張ろうと言われた事と同じ意味

3、「求人誌もってきたぜ！」〓「まだ仕事見つからんの？ 弱いよお前！」という被害妄想の様に解釈し「働け！OR働きなよ」と言われていると感じる 他・・・

どれもが劣等感が原因にあつて、周囲と自分の立場を比べて嫉妬したり憎悪する。のであるが、それは表面上絶対に現れない。

というのも、そんな感情は自分自身が間違っている事を自覚しているからである。

だからこそ隠されるのだが、隠されれば嫉妬や憎悪は積み重なっていくしかない。

仕事が決まらなければ怒りもたまり、溜まればいつか風船の様に爆発する。

そしてそれは親をも殺せる怒りなのである。

過去、実際にニートが両親を殺した事件があるのだが、事件はあんまりクローズアップされなかった。

誰もが異常な行動として評価し、病的なものとして判断したのだろうか、現実はずう。

殺したいと思うのである。

親は無言の圧力で「働け」と言っている様なものである。働く人間を良しと思うのが親として当然であるからこそ、常に劣等感と嫉妬と憎悪を抱いていく。それが殺人への引き金となる。

ここまで読んでなんとなくは理解できたと思うが、殺人はそれでも理解できないと思うだろう。その通りである。だけど、それを理解してしまえば、殺意に理解を示す事になり実に危うい。だからこそ、何となくでいいのである。

その殺意が俺にも芽生えたからこそ判ったのであり、だからこそ警告を促しているのである。

全ては劣等感が引き金になるのは真実なので十分注意されたし。

それと親を殺せるなら、他人だって簡単に殺せると考えてください。  
い。

秋葉原連続通り魔が良い例です。

自分が何となく発言した「働け」や立場を明かしている無言の圧力で、殺意は貴方だけでなく別の誰かに向かう。

「自分は、そんな事、言わないから大丈夫！」ではなく、誰かが言うからこそ、貴方が殺される可能性があるのです。

だからこそ、この警告を受けとめて周りに注意喚起を促して貰いたいと俺は願うのである。

親への殺意を知った時、ふとしたキツカケから親を殺してしまつたら、

私は両親を殺した。

父は一突きで

母を包丁で滅多刺し、

だが他の事は何一つ覚えていない。

どうして殺したのか？

ただ言えるのは殺したときの恐怖の感覚だけは覚えている・・・

〔犯行直前の出来事〕

僕は何をしているのか。

部屋がグチャグチャになっている。

僕は何をしているのか。

手がちまみれになっている。

僕は何をしているのか。

母を泣かしている。

気が付くと涙が流した母が倒れていた。

僕はもつだめだ・・・。

自分が消滅する。

僕は台所へ駆けて行き。

出刃包丁を取り出し、刃を強く握った。

ごめんなさい。ごめんなさい。

僕は、この言葉を心の中で連呼する。

あなたにとって一番大事な私が

あなたに手を上げてしまったこと許してください。

あなたにとって一番大事な私を

私自ら殺してしまうことを許して下さい。

あなたにとって一番大事な私が

親不孝であることを許して下さい。

あなたにとって一番大事な私が

出来ないことを許して下さい。

僕にとって一番大事なのは、あなたでした。。。

僕は包丁を大きく振りかぶって勢い良く力をこめた。けれど父が止めにはいり、もみ合いになった。

僕は、ゆずれない。僕は僕にとっての一番大切な人を守るんだ。だから負けられない。

そうして、もみ合う内に力が抜けて軽くなった。

僕の目の前には包丁の刺し傷から出血している父の姿があった。父は動かない起きない。起きてこない……

僕にとって、あなたは何だったのでしょうか？  
僕にとって、あなたは

起きてこない父を母が見てしまう。  
僕が殺したことが母に知られてしまう。

あなたにとって息子が旦那を殺すことは、どう思いますか？  
あなたにとって息子が旦那を殺したらどうなりますか？  
あなたにとって息子が旦那を殺した後、生きていけますか？  
あなたにとって息子が旦那を殺した後、死にたくないですか？

嫌だ嫌だ。

僕は心中で叫びながらも  
腕がとまらない自分を見ていた。  
母の身体を裂く刃。

目をそむけても目に飛び込んで来る顔

僕は一体なんなんだ？  
何をしているんだ？

母さんが大好きだった。

大好きなのに。。。

なのに　腕は止まらない。

痛いという声が聞こえる気がする。

気がするだけで何も聞こえない。

聞こえるのは僕の声のみ。痛いのは僕の手。・・・

もうすぐだから、もう直ぐ・・・

楽になるから・・・

万が一にも生き返ってもらっては困る。

だから僕は生きかえらないほどに滅多刺しにした。

僕は外へ出る。身体が勝手に動いて行く。

外は雨が降っている。僕と違って皆だけ傘をさしている。

まるで何事も無かったのように歩いている。

平和なやつらに僕の存在を見せ付けるチャンスであると思った。

僕は僕の人生をこの一撃で償う。

僕は声にならない声に全ての感情を乗せて突き刺すのであった・・・

親への殺意を知った時、ふとしたキツカケから親を殺してしまつたら、と

実は、これ半分実話なのね。

包丁を持ったまではない。

自殺しようとしたまではない。

でも、刺す前に込上げるものがあつて血を吐いてしまったのね（笑）  
タイミング良く胃潰瘍で血を吐いたお陰で助かったw

このとき、夜々朝にかけて株の研究し続けてイライラしてたのだけど、父親に朝、「仕事せい！」ってドア越しに言われた後、「どうせ、オナニーばかりしてんだろ？」って挑発されたのがキツカケに成つてる。

この時、発作的に包丁取りに行くとき「あああああああああ  
っーーーーー！！」って絶叫してたの覚えてるw

あとね。最近気付いたけど白髪が結構生えてた。

26歳じゃ、ちょっと早すぎだと思つよオレww

実は結構笑えない。

思い出すだけで泣けてくる。

この日まで、俺ずっと胃の痛みに耐えながら頑張つたの。

「明日こそ市場の真理を解き明かそう！」「今日が駄目でも真理を解けは一日で努力が報われる」

そんな風にやってて、

でも、いつも、頑張るのが苦しくて発狂したりして、自分で追い込んだ結果の苦痛みたいなものだから、ほんとに悔しくて・・・

だから「お前が頑張ってるのはマスターペー・・・みいなもの」っ

て言われたとき、生きてきた人生を全て否定された気分  
で死にたい  
と思った



株とかやっつてたときの苦痛というかストレスの感覚を比喻したもの（前書き）

苦痛感覚を伝えられる最適な言葉が見つからないので比喻化した

株とかやっつてたときの苦痛というかストレスの感覚を比喻したもの

僕の息は、もう続かない。

でも途中で止めたら今までの努力が全て水の泡になる。  
だから耐える。

まだ耐える。

だけでももう駄目だ。  
耐えられない。

苦しい。

今更、投げ出すことはできない。

この努力が全て水の泡になるなら、  
僕の人生は一体なんだったのか？

死ぬより辛い。

投げ出すくらいなら死んだ方がマシだ。

だが無理だ。

苦しい。

苦しい。

苦しい。

もう。。。息が続かない。。

駄目だ！！

でも、もっと耐え続けなきゃ・・・

僕は気を失った。

気が付くと、僕はどこかにいた。

「ここは一体どこだろうか？」  
と、考える余地もなく苦痛は続く・・・

胃の粘膜の内側がエグれて喉から飛び出す感覚

その感覚は果てしなく続く・・・

飛び出した内臓が更に内側にめくれる

めくれる果てに

自分の細胞、肉体が回転を始める

僕は萎縮していく。

次元の狭間に吸い込まれるかのように・・・魂の分解が始まるように・・・。

「苦痛」

この2文字が無限に僕の脳を埋め尽くしていく。

埋め尽くすスピードは加速度的に倍加し続け最終的に

脳内の情報が臨界点に達する

僕は目覚める。

目覚めた場所は天国か？地獄か？

いずれにせよ苦痛は開放された・・・

株とかやっつたときの苦痛というかストレスの感覚を比喻したもの（後書き）

後半は将来の不安とか恐怖で見る夢の感覚です。

つかれた時によく見る悪夢である。

他には歯が全部抜けたり、砕け散る夢をしょっちゅう見てた。

多分だけど、心に余裕が無いので小説とか読まないだろうから、  
今、読者の方にそういう心境の人は皆無だと思う。

でも、過去、同じ様な経験した人は判ると思うので、そういう人  
には『超頑張りましたで賞』をあげたいと思う。

この章に価値はあるかは判らん。

とりあえず共感者がここに居るよ〜ってことでOK？

なんだろうな男にありがちな脅迫観念というやつ？

努力して1番になれば、殺される的な？

そういうのはオレは幼少期のスパルタ教育の段階で身に付けさせ  
られたからな・・・

今、中国の山村のどこかの学校で親と教師が合同してスパルタ教  
育が流行ってるよね。 確か毎日の勉強時間は14時間だっけ？

要するに寝ると飯以外全部、仕事みたいな感じ。

それで小学4年生がクラスを代表して涙ながらに苦痛を訴えたの  
だけど、聞き入れて貰えなかった。

皆でやってるといふ仲間意識があるせいか、どの親も率先して折  
れるという事をしなかった。

裏切りが許されない状況なんだろうな。ほんとに悲惨。

スパルタってある種の虐待だよ。

頑張らなければ認めてもらえないという先入観が、ふか〜〜〜

~~~~~くびりつく。下手したら捨てられる恐怖を抱える。  
進路から順風満帆なら判るけど、どっかで挫折したら一生崩れま  
す。

挫折しても頑張りすぎた見返りがどうしても欲しくなって、高望  
みして手に届かないレベルの場所で努力する。株とかで死ねるよ。

どうしたもんかな・・・

健康うしなったら、全部、終わりなんだけどな・・・

## 天国のS君に捧ぐ言葉

彼は僕に多大な影響与えた。

だが僕は、そのことに気が付かない。

彼もまた自身が僕に大きな影響を与えたことに気が付かない。

僕らは大人になり別々の人生を歩む

はるかなる時が流れ

僕は、ついに彼の存在価値に気付く。

でも彼はもういない。

ありがとうも伝えられない。

でもそれでいい。

彼は、どこかで笑顔で微笑んでくれてる筈だから

それでいい……

今度は、僕が恩を返す番である。

君のしてきた役割は僕が引き継ぐとしよう。



大丈夫。きっと上手く行く。

なぜなら全てが上手く行くと決定しているのだから・・・

## 天国のS君に捧ぐ言葉（後書き）

ここでの役割とは、まあ、自分でも気付かない事で誰かを救うみたいな、そんな感じ？

あるいは救われた人もそれに気付かないみたいなの……

逆に不幸にする場合もある。

人力では多分、予測不能で潜在意識の深層にて影響を与え救われた後、途方もない時間の中で気付くみたいなの……

自分にとって生きる為の意味の発見のような……

でも、救ったと思っても、逆にそれが原因で誰かが不幸になったり、長い時間を経て足枷になったりと、物事は断言できない。

ただ自分が幸せな時は、こんな風に思う事があるということ



い。悲しい。悲しい

悲しい~~~~~

あの人に嫌われてかもしれない。  
だから今日、私の所に来ないんだ・・・

悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。



よし！謝らなくちゃ！

「ごめんなさい・・・」

「何を謝っているんだい？」

僕は、そんなこと全然気にしてないし・・・

それに君の事を、そこまで依存してないから、気にするな。









どうして私は、こんなに悲しいのか？

あの人に求められていないから？

だけど・・・求めれば、あの子は答えてくれる。

なのに・・・



悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。  
悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。悲しい。

「なにが、そんなに悲しいの？」

悲しいの主張おわり

## 悲しみの主張（後書き）

気分が落ちて寂しくて何かにすがりたい時、すげればすがるほど空しさを感じる様な、でもそうでなくてドライな考え方として、すがることが果たして必要かと問う様な・・・  
これに共感できたら結構病んでると思う。きつとオレと同じ



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2124p/>

---

俺に興味が無い奴は、生きる資格は無い！

2011年4月13日08時48分発行